

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

大学教育委員会

### 2. 趣旨

- ①教育内容（カリキュラム）、方法、評価の調査研究
- ②教員組織、教員の質・能力向上
- ③教育に関するセミナー、ワークショップ等の実施

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

○安酸 史子（日本赤十字北海道看護大学）  
江川 隆子（関西看護医療大学）  
太田 勝正（東都大学 ※2026 年 3 月 31 日まで）  
小原 泉（自治医科大学 ※2026 年 3 月 31 日まで）  
（委員）  
前田 樹海（東京有明医療大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

#### 1) 研修会の開催

##### （1）新任教員向け研修会「私立大学とは」

目的：私立大学の教職員として基本的に知っておかなくてはならない考え方や、教育課程、私立大学法改革に至る経緯や置かれている現状について学ぶ

講師：秋元 典子 氏（甲南女子大学 学長）

日時：2026 年 8 月 16 日（日）10 時 00 分～14 時 20 分

開催方法：（当日）会場開催と Zoom ウェビナーを用いたライブ配信（講演のみ）  
（後日）オンデマンド配信（午前の講演のみ）

プログラム：

（午前の部）

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～11:10 講演「私立看護系大学を理解する」

講師：秋元 典子 氏（甲南女子大学 学長）

11:10～11:20 質疑応答

11:20～12:20 休憩

（午後の部）※午後の部は会場開催のみ

12:20～13:20 グループワーク

13:20～14:15 発表・質疑応答

14:15～14:20 閉会挨拶

##### （2）喫緊の課題についての研修会「看護系大学における特別な支援を必要とする学生への教育支援の実際」 昨年同様、当事者家族を指定討論者に加わってもらい、午前中西村氏による講演、午後はグループワークを予定している。

日時：2027 年 1 月 24 日（日）

##### （3）生成 AI を用いた看護学教育について

学生の生成 AI 活用リテラシーについて学ぶ機会として、1 時間 30 分程度のオンライン講義（情報提供）を検討中。

情報提供：篠崎 恵美子 氏（人間環境大学）、坂 亮輔 氏（人間環境大学）

## 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

18 歳人口の減少、看護を希望する学生の減少、学力不足の学生や配慮を要する学生の増加など看護学教育を取り巻く社会の変化が激しい中、長期的な事業活動は具体的な計画を立てにくい状況にある。

情報化の変化への対応や新カリキュラムの運用に関する情報を共有し、教育方法の工夫や開発による「教育の質」の更なる向上のための長期計画へと発展させていく年度としたい。又、本協会の会員校である私立大学のもつ多様なニーズを把握し、私学の特色を生かした事業を企画していく必要がある。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

研究活動委員会

### 2. 趣旨

- ①教員の研究力の向上、学術研究の推進に関わる活動
- ②研究助成と研究者の交流に関わる活動
- ③研究に関するセミナー等の実施

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 亀井 智子（聖路加国際大学）
- 小松 万喜子（中部大学）
- 前川 幸子（兵庫医科大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

#### 1) 研究助成公募および審査

研究助成事業規程、研究助成事業規程施行細則、研究助成募集要項に則って公正かつ迅速に研究助成事業を運営する。

- ・看護学研究奨励賞：20 件程度
- ・若手研究者研究助成：15 件程度
- ・国際学会発表助成：10 件程度

公募期間：2026 年 4 月 1 日～5 月 20 日

選考会議：7 月 20 日（月）15 時 00 分から 17 時 00 分（Web 会議）

#### 2) 学術研究および学術研究体制に関する事業

研究セミナー

##### ①若手研究者研究助成成果報告

15 分程度の音声付パワーポイントを 1 か月間、本協会ホームページに掲載し、質問はメールで受け付ける。

##### ②講演

テーマ：研究の「地図」を描く思考法

－ PCC フレームワークによる問いの構造化と文献検討の再定位 －

目的：研究に取り組む中で多くの院生や若手研究者、ならびに教員が経験する「文献がない」「先行研究をどのように整理すればよいかわからない」といった行き詰まりを、単なる検索技術の不足ではなく、研究の問いや概念の捉え方に起因する問題として捉え直すこと

日時：2026 年 9 月 12 日（土） 13 時 00 分から 15 時 30 分

開催方法：当日のライブ配信と後日オンデマンド配信

講師：山川 みやえ 氏（大阪大学）

プログラム：

- 13：00～13：10 開会挨拶
- 13：10～15：00 講演
- 15：00～15：20 質疑応答
- 15：20～15：30 閉会挨拶

### 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

- ①会員校における看護学研究者の育成のために適正で公正な研究助成事業を推進する。
- ②会員校の教職員のニーズに沿ったセミナーの開催について検討し、研究セミナーを開催する。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

国際交流委員会

### 2. 趣旨

- ①看護における教育、学術及び文化の国際交流を通して、将来国際的に関連機関との連携協力及び援助に繋がるための方策の調査研究
- ②看護界の動静と看護学教育の国際交流の現状と将来についての講演会等の実施

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

○櫻井　しのぶ（順天堂大学）  
池松　裕子（日本赤十字九州国際看護大学）  
（委員）  
中村　敦子（日本赤十字広島看護大学）  
若林　律子（日本医科大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

#### 1) 研修会の開催

テーマ：「外国籍患者への医療リテラシー支援の実際」（仮）

目的：未定

内容：今後は外国籍の方を看護する機会が増えることから、医療リテラシー、母子手帳などの制度の活用方法と外国人の看護について考える機会とする。

開催日時：2026 年 11 月 7 日（土）（予定）

開催方法：当日のライブ配信と後日オンデマンド配信

講師：2 名

プログラム：

開会挨拶（10 分）

講演 1（35 分）

質疑応答（10 分）

講演 2（35 分）

質疑応答（10 分）

休憩（10 分）

フリーディスカッション（30 分）

閉会挨拶（10 分）

#### 2) 新規に国際交流活動を行うための助成事業(100 万円×5 件)

<スケジュール>

応募期間：2026 年 4 月 1 日～5 月 15 日

審査期間：2026 年 5 月 18 日～5 月 29 日

事業開始：2026 年 6 月中旬以降

事業報告：2027 年 3 月末日

### 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

国際的に活躍できる看護人材の育成にむけた看護学教育のあり方について、情報交換と交流を推進し、グローバル社会のニーズに対応する国際看護教育のあり方及びカリキュラムの体系化について議論を深める。また、地域や医療現場だけではなく、大学においても多様な文化を背景に持つ教職員と相互理解を深め、共に働くために必要な人材育成の展望に向けた議論を進めていく。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

大学運営・経営委員会

### 2. 趣旨

- ①私立看護系大学の振興に必要な国、地方公共団体又は民間からの補助金、寄付金、その他の支援が可能になるような実態調査・分析
- ②大学運営・経営の向上に繋がる事業を展開するための方策の調査

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 永田 智子（慶應義塾大学）
- 岡田 みどり（川崎医療短期大学）
- 川本 利恵子（湘南医療大学）
- 竹田 恵子（川崎医療福祉大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

#### 1) 研修会

テーマ：「効果的な学生募集」（仮）

目的：学生募集については、引き続き重要なテーマであり、これまで民間業者による講演を 2 年連続で実施してきたことから、2026 年度は別の切り口から検討する。具体的には、効果的な学生募集の事例紹介や、高大接続など。各大学においては少子化の進行により 18 歳人口の減少が続く中で、地域性をより一層強化する必要がある。また、従来の入試制度だけでは限界があることから、編入生や社会人を対象としたキャリアバリエーション支援型の入学制度やカリキュラムの整備についても検討する。

開催日時：10 月 19 日（月）と 26 日（月）を候補日とする。

開催方法：Zoom ウェビナーによるライブ配信とオンデマンド配信

講師：山勢 善江 氏（湘南医療大学）

福田 友秀 氏（武蔵野大学）

日本看護協会（講師調整中）

プログラム：未定

#### 2) 4 年制大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成（JANPU との合同）

調査期間：2026 年 10 月～12 月（予定）

#### 3) 短期大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成

調査期間：2026 年 10 月～12 月（予定）

### 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

- 1) 4 年制大学および短期大学の教育・危機管理等に関する実態調査結果から、4 年制大学および短期大学の運営・経営改善に関する方策を提案する。
- 2) 大学運営・経営に関する研修会を企画し、学校法人の経営戦略等についての情報を発信する。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

渉外委員会

### 2. 趣旨

- ① 本法人の発展のため外部の組織に働きかけ、看護教育並びに看護専門職としての充実・発展に必要な国の制度や法令、文教行政や予算、高大連携についての確かな情報収集と分析・整理
- ② 文部科学省、厚生労働省関係、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等諸機関の活動状況の把握をし、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施
- ③ 啓発活動のためのセミナーの実施

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

○原 玲子（日本赤十字秋田看護大学）  
荒木 暁子（東邦大学）  
鎌田 佳奈美（摂南大学）  
洪 愛子（神戸女子大学）  
櫻井 しのぶ（順天堂大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

渉外委員会では、看護教育に関する関連省庁や関係団体の動きに関する情報収集及び関連団体との連携活動を行いながら、本協会の発展に向けた取り組みを検討するための活動を行う。

- ① 文部科学省、厚生労働省、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等の活動状況の把握をし、現状への認識及び今後の方針について理事会に報告する。
- ② 関係諸団体と関係を深め、情報交換、意見交換するとともに、連携・支援に向けた働きかけをしていく。
- ③ 看護の問題、看護政策の実現に向けて、政府、所轄省庁等へ要望書を提出する。
- ④ 日本看護系大学協議会の高等教育行政対策委員会及び APN グランドデザイン委員会への参画を継続する。
- ⑤ 会員校の抱える問題について関係諸団体と協働し実態把握に努め、文部科学省、厚生労働省等関係省庁と情報を共有し検討する。

#### 1) パブリックコメントの実施

厚生労働省、文部科学省、自民党看護問題小委員会等への要望書の提出を見据え、会員校からより広く意見を集めるために、本協会ホームページに意見募集の窓口を設置する。

#### 2) 要望書の作成

看護系大学の約 70%を私立大学が占める現状と、私立大学の看護教育に対する責任の大きさを鑑み、私立看護系大学の存在意義を政策提言へ反映させた要望書を作成する。

#### 3) 関係諸団体との連携

日本看護系大学協議会の高等教育行政対策委員会・APN グランドデザイン委員会への参画を継続し、関係諸団体と情報・意見交換を通じ本協会の発展に向けた活動を行う。

#### 4) 教育学術新聞への掲載

日本私立大学協会が発行する教育学術新聞「名刺交換会」に掲載する。

### 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

関係諸団体の活動状況の把握をさらに進め、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施に移す。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

広報委員会

### 2. 趣旨

- ① 本法人の目的の達成に寄与するため会報・その他刊行物の発行
- ② 会員校への情報伝達及び会員校間の情報交換
- ③ 本法人の活動の外部への PR のためのホームページ企画運営

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 鎌田 佳奈美（摂南大学）
- 宮城 由美子（福岡大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

#### 1) 会報第 55 号・56 号の発刊と第 57 号の企画

##### （1）会報第 55 号は 5 月上旬に発刊

- ① 2025 年度事業活動報告
- ② 会員校の特色ある取り組みの紹介
- ③ 2026 年度助成事業について
- ④ 理事会報告
- ⑤ 50 周年記念事業について
- ⑥ 事務局からのお知らせ

##### （2）会報第 56 号は 11 月上旬に発刊

- ① 会長挨拶
- ② 新規会員校紹介
- ③ 50 周年記念事業講演会の内容
- ④ 会員校の特色ある取り組みの紹介
- ⑤ 2026 年度助成事業の選考結果報告
- ⑥ 役員一覧
- ⑦ 社員総会・理事会報告
- ⑧ 事務局からのお知らせ

##### （3）編集

原稿の依頼や原稿の受取は原則メールで行う。

##### （4）配布部数

会員校：1 校 4 部  
関係団体：約 130 部

##### （5）会報第 57 号の企画

2027 年 5 月上旬の発刊に向けた記事構成等の企画

#### 2) 2025 年度年次報告書の発刊

7 月初旬に発刊

#### 3) ホームページ

- ・ 年に 4 回ホームページの保守管理業者との会議を行い、ホームページの利用状況を定期的に分析し現状を把握する。出された課題に対する改善策を検討しホームページの改善に努める。
- ・ トップページに会員校の特色ある取り組みを掲載するコンテンツを作成する。
- ・ 50 周年記念事業の周知に努める。

4) 看護の魅力を社会、受験生、保護者などに伝える PR 活動

SNS を活用した動画広告で看護の魅力を発信する（5 月～6 月、1 月～2 月を予定）。また、ホームページでも看護の魅力を継続的に発信し、会員校の HP へのアクセスを促進する。

**5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）**

1. HP に関する定期的な業者との打ち合わせ会議を継続すると同時に、迅速かつ適切な情報配信を行うことで HP の充実を図る。

2. 会報発行（年 2 回）を継続すると同時に、さらなる紙面の充実を図る。

3. 協会全体の計画と方針を基に看護の魅力を社会に発信するための広報活動の検討を行う。



## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

将来構想検討委員会

### 2. 趣旨

①本法人の役割と機能の強化に向け、私立大学としての課題と看護学教育及び看護学研究の具体的な課題の明確化と今後の方向性について具体的方策の提案

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

○荒木 暁子（東邦大学）  
洪 愛子（神戸女子大学）  
鎌田 佳奈美（摂南大学）  
櫻井 しのぶ（順天堂大学）  
原 玲子（日本赤十字東北看護大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

本協会の役割と機能の強化に向け、私立看護系大学がもつ具体的な課題の明確化と今後の方策について方向性を提案する。

#### 1) SWOT 要点の事業計画への反映と再構成

2025 年度に実施した SWOT 分析の主要結論を事業活動計画一覧へ落とし込み、将来展望を踏まえた協会の活動計画を見直し、再編成する。必要に応じ各委員会事業への反映等を合同で検討する。

#### 2) 私立看護系大学の運営・経営等の基礎情報を効率的に活用する情報提供と分析

日本私立学校振興・共済事業団から情報提供を得て、私立大学（特に私立看護系大学）の基礎情報を把握すると共に、その情報を基にした看護学教育・研究等の課題を明確にし、本法人の役割と機能の強化について検討する。

### 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

少子化により大学としての経営・運営状況への影響が大きい中、看護学基礎教育における私立看護系大学の役割は益々重要となっている。また、会員校は、看護の質向上や人材育成だけでなく、地域住民の健康支援を行う役割を担っており、新興感染症の流行や災害等の発生時には住民の健康危機に対応すべく尽力している。会員校の教育の質を維持向上し、更なる連携と協力を推進すべく求められる本協会の事業活動を検討する。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

地区活動委員会

### 2. 趣旨

- ①地区活動を通じたネットワークづくりにより、私立看護系大学の協働体制を進め、安定した看護学教育の推進
- ②私立看護系大学が共有する課題に協働して取り組む活動への助成事業の実施
- ③看護学の発展を担う人材を確保する活動のための助成事業の実施

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

○篠崎 恵美子（人間環境大学）  
池田 恵美子（四国大学）  
（委員）  
坂 亮輔（人間環境大学）  
渡部 光恵（四国大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

#### 1) 地区活動プロジェクト

会員校の地区における協働を進め、看護学教育の発展に寄与する新たな活動の在り方を探索することを目的とし、各地区の会員校の協働活動に助成を行う。

<スケジュール>

応募期間：2026 年 4 月 1 日～5 月 15 日

審査期間：2026 年 5 月 18 日～5 月 29 日

事業開始：2026 年 6 月中旬以降

事業報告：2027 年 3 月末

#### 2) 地区会議の開催

当番校（四国大学）が企画を担う。会議の前にあらかじめ問題提起し、出されたテーマについて、各校と意見を交換する。共通のテーマについて他大学の見解を具体的に聞き共に考える。

#### 3) 地区間におけるネットワーク構築の促進

地区活動プロジェクト助成で作成した成果物などの教育教材全般のノウハウを会員校と共有できるようにパッケージ化し、地区間のネットワーク構築を促進させる活動の検討を進める。

例) 中学生を対象とした模擬事業運営のノウハウを蓄積・共有する取り組み

### 5. 今後の展望（2026 年度 ～ 2027 年度）

活動の透明性や会員校の参加意欲の向上につなげるため、地区活動プロジェクトの成果を全国的に共有できる情報発信の仕組みについて検討する。また、将来的に複数の地区が連携した活動を見据えた広域連携の推進を検討する。

## 2026 年度 事業活動計画書

### 1. 委員会名

50 周年記念事業実行委員会

### 2. 趣旨

- ①祝賀に際し、記念式典、記念講演・シンポジウム、祝賀会を通じて、会員校の連携強化と看護教育の将来像についての認識を深める。記念講演には、Dr. Pamela Cipriano 氏を招聘し国際的な視野の共有と、日本の私立看護系大学の強み・課題の可視化を図る。
- ②記念誌を発刊し本協会の理念と今後の在り方を周知する。

### 3. 担当理事および委員（○：委員長）

○原 玲子（日本赤十字東北看護大学）  
荒木 暁子（東邦大学）  
鎌田 佳奈美（摂南大学）  
洪 愛子（神戸女子大学）  
櫻井 しのぶ（順天堂大学）

### 4. 2026 年度事業活動計画

創立 50 周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の私立看護系大学の役割と教育の方向性について再確認し、会員校の発展と看護教育の質的向上に資することを目的として記念事業を実施する。記念講演、シンポジウムにおいては、人口減少や看護職志願者の減少が進む中で、私立大学に期待される「専門職人材の育成」や「地域貢献」の在り方について、国際的視点からの提言を得ることで、次の時代にふさわしいビジョンを構築する契機としたい。

日時：2026 年 7 月 10 日（金）13 時 00 分から 19 時 30 分

会場：アルカディア市ヶ谷 3 階 富士の間（東京都千代田区九段北 4 丁目 2-25）

開催方法：対面と後日オンデマンド配信

#### 記念講演

テーマ：「世界動向と看護系大学に求められる教育の在り方」

講師：Dr. Pamela Cipriano（国際看護師協会 [ICN] 前会長）

座長：手島 恵 氏（東京医療保健大学副学長・国際看護師協会 [ICN] 第 2 副会長）

#### シンポジウム

テーマ：私立看護系大学のこれから

シンポジスト：秋山 智弥 氏（日本看護協会 会長）

「看護協会長として何を私たちに求めているか」

シンポジスト：荒木 暁子 氏（東邦大学 看護学部 学部長・教授）

「私立看護系大学及び本協会のこれからについて」

シンポジスト：洪 愛子 氏（神戸女子大学 学長）

「新興感染症時代を迎えるにあたり」

座長：櫻井 しのぶ 氏（順天堂大学医療看護学部 学部長補佐・教授）

ディスカッション：Dr. Pamela Cipriano には適宜ご意見を伺う

#### 記念式典、祝賀会

創立 50 周年を祝うとともに協会のこれまでの歩みを関係機関と共有し、会員校の教職員の連携を深め、今後の連携強化と看護教育の発展へ向けた新たな機会を創出する。

#### 記念誌の発刊

創立 50 周年の節目にあたり、歴代会長の提言や関連資料を通じて本協会の歩みを記録・継承することを目的とする。あわせて、記念講演やシンポジウムによる国際的・国内的視点からの提言を明文化し、会員校が今後の看護教育の方向性を共有するための指針とする。これらを通じて、私立看護系大学の社会的な役割を再確認するとともに、次代に向けた会員校間の連携強化に資するものとなることを期待する。